

No.203

KANTOU

かんとう



特集／古紙の品質対策 第3回「異物混入」禁忌品A類
支部だより「東京都西支部・神奈川県支部・
埼玉県支部・茨城県支部」

六地区懇談会報告

〈付録〉異物混入防止啓蒙・実例ポスター
(禁忌品A類)

新年号

発行 関東製紙原料直納商工組合
2019.1.20 発行人 大久保信隆／編集人 斎藤大介

東京都台東区東上野1-17-4 坂田ビル
電話 03(3833)4105(代) <http://www.kantoushoso.com>

経営革新委員会 研修報告



(株)トリム様 会社入口



(株)トリム様 工場外観



(株)トリム様 工場内部



参加者集合写真

安全防災委員会 研修報告



中部ファイバークラブとの集合写真



会議の様様



伊勢神宮 (内宮)



中部ファイバークラブのメンバー

年・頭・所・感

新年明けましておめでとうございます。

皆様にはご家族と共に、輝かしい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

平素は関東商組の諸活動にご理解と格別なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返って見ますと、自然の猛威が繰り返されたと思います。豪雨、巨大台風、竜巻、北海道胆振東部地震、土砂崩れ、エルニーニョやラニーニャが立て続けに起こり、発生周期を覆した平成30年は、温暖化による気候変動が激しくなる幕開けの年でした。亥年も同じになると思うので年初から災害対策をしっかり行いましょう。

働き方改革は業界にとって非常に厳しい課題ですが今年はこれに真剣に取り組まなければなりません。内閣府による11月の月例経済報告によれば先行きについては、雇用、所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要がある。年の瀬の株式市場で弱気の心理が台頭している米中貿易戦争によって世界株式は昨年末比マイナスになった。日本株も一年を通じてみると下落になっているでしょう。

製紙産業を見ると平成30年10月の紙、板紙の国内生産は21,726千t前年比98.4%、紙は11,710千t前年比96.2%、板紙は10,016千t前年比101.2%と紙は減り、板紙は増えております。その中で段ボール原紙はフル操業で在庫は435千tと品薄で11月には製品値上げが浸透しました。一方、製紙原料古紙は年初中国の環境政策



関東製紙原料直納商工組合
理事長
大久保 信隆

の固体廃棄物24品目買い止め発表の中にミックス古紙が指定され、他の品目も異物量1.5%から0.5%基準の発表と輸入枠以外は輸入しないとなり国内価格は下落したが、中国国内の価格の高騰と品質問題から日本品質が良いことから連休明けから買いが加速した。そして米中の関税合戦によって中国が米国古紙に関

税を25%掛けたことによって9月以降日本古紙の爆買いが始まって年末にしばみしました。

今年もまだ輸入ライセンスの発表はありません。去年は古紙価格が中国によって振り回されました。しかし我々は古紙品質の向上と安定した回収に努めたいと思います。各社の古紙リサイクルアドバイザーも3,000人を超え、古紙商品化適格事業所が強化され、品質の一定によるJブランドが一層全国規模で認知され、今年は販売価格が透明になることを期待します。

これらは経営革新委員会、安全防災委員会、需給委員会、渉外広報・IT委員会、支部長会議及び各支部会をリードして頂いているそれぞれの長の皆さんと委員の方々による充実した活動のお陰と感謝しています。

残念なのは持ち去りが無くならないことです。今年は何が何でも「法」を作っても撲滅します。皆さん是非協力してください。

色々と問題は山積しており、不透明な時代が続きますが、組合員一同、元気に朗らかに健康に注意して本年も頑張りましょう。

一層信頼の出来る業界にしていくために、組合員の皆様には年頭に当たり重ねてご支援とご理解とご協力をお願いいたします。

(2018年12月8日記)

年・頭・所・感

新年あけましておめでとうございます。

昨年一昨年と同様中国の古紙政策に振り廻された年であったと思われます。昨年の7月に、中国がWTOに不純物が混じった古紙の輸入を環境面から禁止すると表明し、古紙の輸入量を許可制にして規制に乗り出しました。

2015年の中国が回収した全再生資源量を2億46百万tとして、2020年までに再生資源の回収量を1億t増やし、ごみの減量を図る計画を発表しました。昨年1年間この基本計画にのっとり政策を展開しましたが、古紙の輸入量を減らしたため中国国内の古紙の不足感が強まり、秋には中国国内の段ボール古紙価格はt5万円まで急騰しました。

さらに米中の貿易摩擦により米国からの輸入古紙に25%の関税をかけると通告し、米国からの古紙の輸出が急減しました。これらの結果、不足する古紙は日本から調達する外なくなりました。特に2017年に中国が米国から輸入した新聞古紙は314万tでありましたが、春以降急減したためその分日本に求めてきました。一昨年の日本の新聞古紙の輸出量は年間で26万tでしたが、10月時点で47万トンに達し、



全国製紙原料商工組合連合会
理事長
栗原 正雄

年間では約倍の50万トン以上に達したものと思われま。中国向け輸出価格は第二次オイルショック以来の高値となり、段ボール・新聞古紙共にt3万円以上となりました。

両古紙の輸出増により日本国内で消費する古紙が不足する恐れも出てまいりました。11月には経産省でもこの事

態を心配され、全原連理事長あてに国内への優先出荷を要請され、その旨各単組に伝達いたしました。

12月になって中国への通関時期が年内一杯となった為、影響は徐々に沈静化してまいりました。

本年の中国の輸入政策がどうなるのか、昨年では何もわからない状況でしたが、昨年の時点では中国の古紙輸入量は一昨年より約1千万t減じたものと思われま。本年の輸入量もさらに減じられると思われま。定かではありません。米中の貿易戦争の行方も不透明です。しかし、我が国は本年も需給両業界が緊密に連携しながら、私共古紙業界は、国内メーカーさんへの供給責任を果たさなければならないものと思っております。
(2018年12月10日記)

目次

年頭所感	1	委員会トピックス	24
関東商組理事会報告	4	新社長紹介	29
三紙会報告	6	三紙会 Tweet	30
六地区懇談会	9	支部だより	32
古紙センター「紙リサイクルセミナー」	12	業界人語	39
第7回日中古紙セミナー参加報告	13	編集後記	39
栗原正雄氏 旭日中綬章記念祝賀会	15		
東京都中小企業団体中央会表彰式	17		
特集企画～古紙の品質対策 第3回 「異物混入」禁忌品A類	18		

【表紙写真】

富士吉田市側からお正月の富士を望む。シルエットが美しい。冷たい朝の空気に包まれて、ダイヤモンド富士をイメージしました。

渉外広報・IT委員長 須長 利行

年・頭・所・感

2019年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

我が国経済は、安倍政権発足から6年での様々な改革や金融・財政政策によって名目GDPは54兆円増加、正社員の有効求人倍率は1倍を超え、2%程度の高水準の賃上げが5年連続で実現するなど、着実に成長軌道に乗りつつあります。

昨年製の紙業界を振り返りますと、洋紙は、デジタル化、少子高齢化といった構造的要因により新聞、印刷・情報用紙の需要が減少する一方で、段ボール等の板紙需要は加工食品向けの伸びやEコマースの拡大などにより堅調な動きとなりました。また、原燃料価格や物流コストは引き続き高騰しており、製品価格への転嫁や生産体制の見直しが進められていますが、引き続き厳しい環境が続いています。一方で、紙の需要創出につながる動きも見え始めています。海洋プラスチックごみ問題が地球規模の新たな課題として取り上げられており、解決に向けた取組が急務となっています。そのため、昨年11月に、海洋プラスチックごみ問題に積極的に取り組むサプライチェーンを構成する素材製造・加工・利用事業者の連携強化を図る「クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス」を立ち上げることとしました。本アライアンスでは、紙を含む代替素材の普及促進にも取組むこととしておりますので、この機会を活用して、新たな需要を取り込んでいただくことを期待しています。

また、去年は豪雨や台風、地震などによる被害が相次いで発生いたしました。被災された方々にはお見舞いを申し上げます。また、業界の皆様には被災地へのトイレトーパーや段ボールベッドなどの物資支援、節電・逆潮の実施など多大なるご協力をいただきました。改めて感謝申し上げます。北海道胆振東部地震では大規模停電が発生したことを踏まえ、エネルギーの安定供給を推進していきます。

サプライチェーンに関わる動向としては、まず、物流においては、長い荷待ち時間の改善や物流手段の確保等に取り組むため、昨年、国土交通省と連携し、紙パルプ関係の物流懇談会をスタートしました。この場を活用し、発荷主、着荷主、運送事業者が連携し、取引慣習上の問題解決を含めた、効率化が図られ、紙パルプ産業の経営環境の改善につながることを期待しています。

加えて、アベノミクスの成果を全国に届けていくためには、中小企業の取引条件を改善するとともに、サプライチェーン全体で付加価値を生み出す取組が求められます。既に、自動車、素形材等



経済産業省 製造産業局
素材産業課長
湯本 啓市

の業界では、取引適正化に向けた自主行動計画等を策定しており、これは、業界として前向きに取引適正化に資する取組を行っているという好事例といえます。取引適正化の取組の推進に当たっては、発注側、受注側双方の理解、協力が不可欠です。製紙業界においてもこうした取組を進めるべく、皆様とともに議論を深めたいと考えています。

製紙原料の一つである古紙については、中国の環境政策や米中貿易摩擦が、国内の古紙の需給状況や価格に大きな影響を及ぼしています。とりわけ中

国による古紙の輸入規制の実施継続に加え、昨夏からの米国古紙に対する中国の追加関税措置の実施により、品質の良い日本産古紙への引き合いが強まることとなりました。今後、中国における古紙の輸入規制が更に強化される方向であることから、引き続き動向に目が離せない状況となっています。経済産業省としても、国内外の需給動向を注視し、市場環境の安定化に取り組んでいきます。

また、デジタル技術の急速な進展により、製造業を巡る外部環境は目まぐるしく変化しています。変革する競争環境の中で勝ち残り、世界をリードしていく企業を後押ししていくため、経済産業省では「Connected Industries」の取組を進めていきます。日本の強みはものづくりの現場にある、と言われますが、日本の製造業は深刻な人手不足に直面しています。こうした現場に、AI、IoTなどの技術を導入することで、人材育成や技能の伝承などを実現していくため、昨年成立した生産性向上特別措置法に基づく、IoT投資に対する税制優遇措置などの施策に取り組んでいきます。

今年10月には、消費税が10%に引き上げられます。政府においては、国民生活や経済活動に混乱を生じないように対策をとりまとめたところです。皆様には、軽減税率制度への円滑な対応のほか、例えば、新商品の投入により需要を喚起いただくなどの取組をご検討いただければと思います。

2025年の国際博覧会について、大阪・関西への誘致を勝ち取ることができました。政府・自治体・経済界が一体となり、オールジャパンで準備を進めてまいりますので、経済界の皆様には引き続きの御理解と御支援を賜りますよう、よろしく申し上げます。

最後になりますが、製紙・古紙業界に携わる皆様の益々のご健勝、ご発展と、本年が皆様にとって幸多き一年でありますことを祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

関東商組理事会報告

平成30年度 第5回 理事会報告

開催：平成30年9月19日(水)

午後3時～5時

関東商組事務局 会議室

出席状況：出席…31名

1. 古紙持ち去り関係
2. 各支部市況報告 [報告]
3. 輸出共販事業 8月船積み分キャンセルへの対応
4. 古紙商品化適格事業所及び古紙リサイクルアドバイザー更新・新規及び取消の申請
5. 理事の辞任
6. 組合員の自由脱退
7. 台風21号の暴風雨(9.4 関西地方)及び平成30年北海道胆振東部地震(9.6)による被害への対応
8. 各会議報告
 - (1) 総務財務委員会(9月13日開催)
 - (2) 正副・総合運営委員会(9月13日開催)
9. 近代化推進事業報告
 - (1) 経営革新委員会(9月14日開催)
 - (2) 安全防災委員会(9月6日開催)
 - (3) 需給委員会(6月25日開催)
 - (4) 渉外広報・IT委員会(7月4日両部会合同開催)
 - IT活用部会
 - かんとく編集部会
10. 三紙会 [報告] (8月21日開催)
11. その他

各種統計資料等

1. 関東商組32社古紙在庫月別報告書(平成30年8月)

2. 品別・国別及び港別古紙輸出統計(2018年7月)

平成30年度 第6回 理事会報告

開催：平成30年10月24日(水)

午後1時～3時

関東商組事務局 会議室

出席状況：出席…27名

1. 古紙持ち去り関係
2. 各支部市況報告 [報告]
3. 古紙商品化適格事業所及び古紙リサイクルアドバイザー更新・新規及び取消の申請
4. 平成30年度 集団回収感謝贈呈団体の推薦
5. 仕入価格高騰への対応
6. 各会議報告
 - (1) 総務財務委員会(10月17日開催)
 - (2) 正副・総合運営委員会(10月17日開催)
7. 近代化推進事業報告
 - (1) 経営革新委員会(10月12日開催)
 - (2) 安全防災委員会(9月6日開催)
 - (3) 需給委員会(9月25日開催)
 - 需給予測部会(10月4日開催)
 - (4) 渉外広報・IT委員会
 - IT活用部会(開催なし)
 - かんとく編集部会(9月20日開催)
8. 三紙会 [報告] (9月18日、10月23日開催)

各種統計資料等

1. 関東商組32社古紙在庫月別報告書(平成30年9月)
2. 関東商組 2018年古紙需給予測

3. 品別・国別及び港別古紙輸出統計 (2018年8月)

平成30年度 第7回 理事会報告

開催：平成30年11月19日(月)

午後3時～5時

関東商組事務局 会議室

出席状況：出席…27名

- 1. 古紙持ち去り関係
- 2. 各支部市況報告 [報告]
- 3. 古紙商品化適格事業所及び古紙リサイクルアドバイザー更新・新規及び取消の申請
- 4. 平成30年度 集団回収感謝贈呈団体の推薦
- 5. 平成31年新年会開催計画
- 6. 各会議報告
 - (1) 総務財務委員会 (11月16日開催)
 - (2) 正副・総合運営委員会 (11月16日開催)

- (3) 需給安定基金運営委員会 (11月16日開催)
- (4) 総合運営委員会 (11月16日開催)

7. 近代化推進事業報告

- (1) 経営革新委員会 (11月13日開催)
- (2) 安全防災委員会 (11月14日開催)
- (3) 需給委員会 (10月25日開催)
- (4) 渉外広報・IT委員会
IT活用部会 (開催なし)
かんとう編集部会 (開催なし)

8. 三紙会 [報告] (10月23日開催)

9. その他

各種統計資料等

- (1) 関東商組32社古紙在庫月別報告書 (平成30年10月)
- (2) 関東商組 2018年古紙需給予測 (平成31年1月～3月)
- (3) 品別・国別及び港別古紙輸出統計 (2018年9月)



新聞雑誌選別、さらに革新。

紐切装置付選別コンベヤーライン

ヤードスペースに合わせ、自由にレイアウト。

営業品目

- 各種破袋装置
- 古紙梱包機投入用コンベヤー
- 空カン・空ビン選別コンベヤーライン
- 各種シュレッダー投入用コンベヤー
- 再生資源産業用各種コンベヤー
- 各種省力機械設計・制作

株式会社 拓己技研

〒444-0937 愛知県岡崎市島坂町字川田5番地3
TEL (0564)64-3692 FAX (0564)64-3693

デジタルロードセル式トラックスケール

高精度・低価格・短納期 5t～100t 各種計量管理システム

鎌長製衡株式会社

<http://www.kamacho.co.jp>

- | | | |
|-------|---------------------|------------------|
| 本社・工場 | TEL(087)845-1111(代) | FAX(087)845-7442 |
| 東京支店 | TEL(03)3243-2080(代) | FAX(03)3243-2081 |
| 大阪支店 | TEL(06)6339-0131(代) | FAX(06)6339-0139 |
| 名古屋支店 | TEL(052)586-1451(代) | FAX(052)586-1467 |
| 九州支店 | TEL(092)281-5328(代) | FAX(092)281-3822 |
| 中四国支店 | TEL(087)845-1140(代) | FAX(087)845-7442 |

三 紙 会 報 告

9 月 度 定 例 会

日時：平成 30 年 9 月 18 日(火)

15 時 30 分～17 時 00 分

会場：関東製紙原料直納商工組合 会議室

幹事：栗原 正光・市川紙原(株)

川又 修・新井商店(株)

報告：後藤 和則・(株)高岡

【平成 30 年 8 月

裾物主要三品仕入実績報告 (36 社)】

[段ボール] 前月比 96.7% 前年比 98.8%

[新聞] 前月比 92.1% 前年比 90.9%

[雑誌] 前月比 98.0% 前年比 92.5%

【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区発表

平均単価：段ボール…12.94 円、新聞…14.06 円、
雑誌…7.22 円

[総括] 輸出価格の急騰により、仕入価格は今
後慎重に対応することが重要である。

【各委員会活動報告】

●業務委員会：

(1) パルプ市況報告

[NBKP] \$ 価格 940 前月比 -20

[LBKP] \$ 価格 795～825 前月比 ±0

[総括]

〈NBKP〉8 月積の日本向けは前月比 \$ 20 ダウ
ンで決着。供給量は概ね安定。一方、需要に
ついては、中国では減退傾向となっていたが、
欧米地域では底堅い需要をキープしている。
この結果、欧米向けは前月比横ばいまたは値
上げで決着し、中国向けは \$ 50 程度のダウ
ンにて決着。しかし、中国では 8 月の値下げ
後にユーザーの買い注文が増加。これを受け
サプライヤーは 9 月の中国向け価格を値上げ

すると発表した。日本向け価格については 8
月積と 9 月積において合計 \$ 50 の値下げを
予定していたが、中国の動向を受け、9 月積
の値下げ幅に修正が入る見込みとなっている。

〈LBKP〉8 月積の日本向けは前月比横ばいで決
着。サプライヤーの生産状況は概ね安定して
おり、供給量は増加傾向にあった。しかしこ
の供給量については、新たに立ち上げられた
製紙工場からの需要増や、北米における紙パ
ルプ一貫メーカーの LBKP 外販量の削減に
伴う、市販パルプの需要増などにより相殺さ
れている模様。そのため 8 月は、主要マーケ
ットにおいて需給バランスは均衡な状態を維
持していた。9 月以降については、中国政府
によるアメリカ産古紙、パルプに対する報復
関税や、古紙の輸入制限などの不確定要素が
今後の市況に影響を及ぼす可能性があるもの
の、LBKP は現状の価格帯をキープすると考
えられる。

(2) 上物市況報告

[白・特中白] 発生は低調。需給はタイト。

[白板向け見当] 発生は低調。需給はタイト。

[洋紙向け色上] 発生は低調。需給はタイト。

[特更向け別上・切付] 発生は低調。需給はタ
イト。

[家庭紙向け] 発生は順調。今後需給はタイト
感あり。

[総括] 輸出雑誌の単価が上昇してきており、
雑誌を選別して家庭紙に向けていた込頁類の
入荷が弱くなってきている。今後需要期に向
けてタイト感が出る可能性あり。

次回の三紙会は【10 月 23 日(火)15 時 30 分～】
とする。活動内容の予定は以下の通り。

○裾物三品仕入平均単価報告

○ブロック別仕入平均単価報告

○各委員会活動報告

10 月 度 定 例 会

日時：平成 30 年 10 月 23 日(火)

15 時 30 分～17 時 00 分

会場：関東製紙原料直納商工組合 会議室

幹事：井出 一之・井出紙業(株)

足立 進・王子齋藤紙業(株)

報告：足立 進・王子齋藤紙業(株)

【平成 30 年 9 月

裾物主要三品仕入実績報告 (36 社)】

[段ボール] 前月比 97.8% 前年比 97.6%

[新聞] 前月比 98.0% 前年比 89.0%

[雑誌] 前月比 94.7% 前年比 89.1%

[総括] 土・日・祝日の日数や台風の影響もあり、9 月の発生は三品共に前月・前年割れとなった。

【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区発表

平均単価：段ボール…14.09 円、新聞…15.25 円、雑誌…7.51 円

[総括] 輸出価格が 9 月も上がり仕入単価の対応、ブロック別平均単価も値上がりとなった。

【各委員会活動報告】

●業務委員会：

(1) パルプ市況報告

[NBKP] \$ 価格 930 前月比 -10

[LBKP] \$ 価格 795～825 前月比 ±0

[総括]

〈NBKP〉日本向けは前月比概ね \$ 10 ダウンで決着。中国向けでは米ドルに対する中国元安や紙市況の悪化による需要減に伴い 8 月度の価格について \$ 40～50 値下げを発表。しかしこの発表後ユーザーは買い注文を増やし 8 月度の販売玉は売れ切れ状態となった。これを受けサプライヤーは一転して 9 月の中国向け価格の値上げを発表し結果 8 月～9 月の値下げ幅は \$ 20～30 程度に落ち着いた。今後は、中国では例年ならばパルプ需要が増える時期にあたるが 8 月度で買い増しをした影響

もあり、現時点では需要が増える兆候は見られない。

〈LBKP〉需要については欧米地域では堅調な需要をキープしているが、中国では前述の理由によりユーザーのバルブ購入量が抑制されている一方でサプライヤーは概ね順調に操業をしており、市況はやや軟化傾向になりつつある。結果として 9 月価格は主要マーケットにおいて前月比概ね横ばいで決着。

(2) 上物市況報告

[洋紙向け] 発生は低調継続。中国の環境規制の影響によるパルプ価格高止まり継続でパルプ代替品である上物が逼迫しつつある。今後も DIP の増配合が拡大すると思われる需要拡大が予想される。

[白板向け] 発生は低調。製品値上げが通り好調を維持。需要期に入り各社増産。

[特更向け] 発生は低調。出版物の販売不振継続。

[家庭紙向け] 需要期に入り各社フル生産。中国向け輸出雑誌価格高騰により入荷が不調。徐々にタイト感が出てきている。

[総括] 総体的に上物古紙発生は低調のまま厳しい状況が続いている。

●研究委員会：

・新聞・チラシ重量調査集計結果配布

●広報委員会：

・広報誌「かんとう」掲載 三紙会 Tweet 原稿作成依頼

次回の三紙会は【11 月 26 日(月)15 時 30 分～】とする。活動内容の予定は以下の通り。

○裾物三品仕入平均単価報告

○ブロック別仕入平均単価報告

○各委員会活動報告



11 月 度 定 例 会

日時：平成 30 年 11 月 26 日(月)

15 時 30 分～17 時 00 分

会場：関東製紙原料直納商工組合 会議室

幹事：遠藤 隆二・(株)大久保

山田 正雄・JP 資源(株)

報告：相田 寛文・(株)丸興佐野錦一商店

【平成 30 年 10 月

裾物主要三品仕入実績報告 (36 社)】

[段ボール] 前月比 106.7% 前年比 101.8%

[新聞] 前月比 109.5% 前年比 98.4%

[雑誌] 前月比 111.6% 前年比 102.9%

[総括] 天候不順だった 9 月分の発生が 10 月に
ずれ込んだため、新聞と雑誌の入りが思っ
ていたよりも良かった。

【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区発表

平均単価：段ボール…15.57 円、新聞…17.16 円、
雑誌…8.40 円

[総括] 輸出価格の上昇に伴って、仕入単価が
三品ともに 3 か月連続で上昇した。

【各委員会活動報告】

●業務委員会：

(1) パルプ市況報告

[NBKP] \$ 価格 930 前月比 ±0

[LBKP] \$ 価格 795～825 前月比 ±0

[総括]

〈NBKP〉中国では紙製品の市況悪化により、ユ
ーザーはマシンの操短や停機を実施。また 8
月度で NBKP を買い増した事もあり、需要は
低調な状態が続いた。供給側においては、北
米サプライヤーはトラブル等により若干の生
産減となったが、チリやロシアのサプライヤ
ーは自社在庫を多く抱えていた模様。このよ
うな状況下、中国向けの 10 月価格は結果的
に横ばいとなったが、サプライヤーの一部は
11 月に \$60 値下げすることを発表している。

〈LBKP〉中国向けのパルプ需要低下に加え、こ

れまで堅調な販売を維持していた欧州向けに
ついても需要が落ち始め、欧州の主要港に保
管されている LBKP 在庫は過多気味になり
つつあった。10 月価格については主要マー
ケットにおいて前月比概ね横ばいで決着した
が、スポット取引の相場は下落を続けている。
11 月に入っても北米地域を除く地域で軟化
傾向は続いており、日本向けについても遅か
れ早かれ価格は下落すると予想されている。

(2) 上物市況報告

[洋紙向け] 発生は低調継続。中国の環境規制
の影響によるパルプ価格高止まり継続でパル
プ代替品である上物が逼迫。今後も DIP の
増配合が拡大すると思われ、更なる需要拡大
が予想される。

[白板向け] 発生は低調。製品値上げが通り好
調を維持。需要期に入り各社増産。

[特更向け] 発生は低調。出版物の販売不振継続。

[家庭紙向け] 需要期に入り各社フル生産。中
国向け輸出雑誌価格高騰により入荷が不調。
タイト感が出てきている。

[トピックス] 日本製紙連合会発表の 10 月の紙・
板紙の国内出荷は前年同月比で 3.3% 増。うち、
紙は 0.9% の減で 17 ヶ月連続の減少。板紙は
8.1% の増で 2 ヶ月ぶりの増加となった。11 月
より実施される製品値上げの仮需と思われる。

●研究委員会：

・新聞・チラシ重量調査 (12 月度) の依頼

●財務委員会：

・原価構成比調査の結果報告

●その他：

・11 月 8 日に大阪で開催された六地区懇談
会についての報告

次回の三紙会は【12 月 18 日(火)15 時 30 分～】

とする。活動内容の予定は以下の通り。

○裾物三品仕入平均単価報告

○ブロック別仕入平均単価報告

○各委員会活動報告

○定例会終了後、忘年会を開催予定

六地区懇談会報告

開催日：平成 30 年 11 月 8 日(木) 15 時 00 分～ 17 時 00 分

会 場：鳥よし 本店

出席者：[関東・三紙会] 平松会長、高橋副会長、近藤相談役、小池監事、濃田財務委員長、工藤財務副委員長、山田業務副委員長、木ノ下広報委員、川又研究委員、相田広報副委員長
(以上 10 名)

[中部・中部ファイバークラブ] 12 名、[中国・紙縁会] 7 名、[四国・紙志乃会] 4 名、
[九州・紙藍会] 8 名、[開催地 近畿・紙朋会] 14 名 計 55 名

報告者：(株)丸興佐野錦一商店 相田 寛文

1. 開会の辞

紙朋会 仲会長

本日はお忙しい中、大阪までお集まりいただきましてありがとうございます。

以前と比べて六地区懇談会の参加メンバーも大分若返ってきておりますが、せっかく全国からお集まりいただいているので、出来るだけ多くの方々に積極的に発言していただきたいと思ひます。ご協力の程宜しくお願ひいたします。



[懇談会・開会の辞] 紙朋会 仲会長

2. 各地区市況報告

(1) 仕入価格

※ 仕入価格の()内は、高値価格

	段ボール	新聞	雑誌
関東地区	10.0 ～ 16.0	11.0 ～ 16.0	8.0 ～ 11.0
中部地区	7.8 ～ 10.4	7.8 ～ 10.8	5.0 ～ 7.6
近畿地区	9.0 ～ 12.0 一部高値あり	9.0 ～ 12.0 一部高値あり	5.0 ～ 9.0 一部高値あり
中国地区	8.0 ～ 11.0 (11.0 ～ 13.0)	9.0 ～ 12.0 (12.0 ～ 14.0)	6.0 ～ 9.0 (9.0 ～ 11.0)
四国地区	8.0 ～ 13.0	8.0 ～ 13.0	6.0 ～ 11.0
九州地区	9.0 ～ 12.0 一部高値あり	9.0 ～ 11.0 一部高値あり	6.0 ～ 8.0 一部高値あり

(2) 発生状況

① 関東地区 (9 月実績)

■ 段ボール	対前月比 97.8%	対前年比 97.6%
■ 新聞	対前月比 98.0%	対前年比 89.0%
■ 雑誌	対前月比 94.7%	対前年比 89.1%

三品ともに輸出価格の急騰により、仕入れ価格も上がってきており、問屋は仕入単価調整に苦慮している。

② 中部地区 (8 月実績)

■ 段ボール	対前月比 98%	対前年比 102%
■ 新聞	対前月比 99%	対前年比 91%
■ 雑誌	対前月比 103%	対前年比 97%

天候不順の影響が大きく、新聞の発生状況が特に悪い。販売状況は、輸出価格が過去最高値を記録する水準で高騰しているが、需給バランスではなくライセンス消化需要の要因が大きく、中国国内の需要は冷え込み始めているので先行きが不透明。

③近畿地区 (9月実績)

■段ボール	対前月比	90%	対前年比	88%
■新聞	対前月比	90%	対前年比	87%
■雑誌	対前月比	87%	対前年比	86%

台風の影響で発生が非常に悪かった。

④中国地区 (9月実績)

■段ボール	対前月比	91%	対前年比	89%
■新聞	対前月比	87%	対前年比	86%
■雑誌	対前月比	89%	対前年比	92%

輸出価格は高騰しているが、2020年に予定されている古紙の輸出ストップも現実味を帯びてきている。もともと中国地区は輸出依存度が低い地域なので、今後も引き続き国内重視で販売していくことになるであろう。

⑤四国地区 (10月実績)

■段ボール	対前月比	111.7%	対前年比	99.5%
■新聞	対前月比	112.6%	対前年比	98.0%
■雑誌	対前月比	105.5%	対前年比	94.9%

9月は雨の日が多く、古紙の発生が大分落ちたが、10月は天候が良かったため発生も回復した。国内メーカーは動きが様々。

⑥九州地区 (9月実績)

■段ボール	対前月比	98.9%	対前年比	99.6%
■新聞	対前月比	104.6%	対前年比	95.6%
■雑誌	対前月比	109.3%	対前年比	92.0%

9月は雑誌の発生が特に悪かった。国内メーカーの様子としては、段ボールの在庫が常に不足しているメーカーやマシンの停止により新聞の在庫が一旦落ち着いたメーカーなど様々。

3. 各地区輸出状況

①関東地区

- ・11月の関東商組輸出価格は、段ボール(2,000t) 31,001円 (CIF \$310)、段ボール(500t) 27,000円 (CIF \$296)、新聞 35,300円 (CIF \$368)、雑誌 20,504円 (CIF \$215)。
- ・直近では、まだ1~2円上昇している。

②中部地区

- ・11月の中部商組輸出価格は、段ボール 30,600円 (CIF \$325)。雑誌は入札に参加した商社の数が規定に達しなかったため不成立。

③近畿地区

- ・組合員の1社に一括輸出を依頼しているが、11月は段ボール 30,000円、新聞 33,500円。

④中国地区

- ・組合では輸出事業は行っていない。

⑤四国地区

- ・組合では輸出事業を行っていない。
- ・四国地方では三品合計で8月は約4,200t、9月は約3,100t輸出されたが、対前年比では8月が85%、9月が94.6%であり、減少傾向にある。これは輸出よりも国内へ優先的に出荷しているため。

⑥九州地区

- ・他地区と比べると地域的な要因で問屋の手取りが約1円程度高い傾向にある。段ボールが月間で25,000t~30,000tほど輸出されており、昨年に比べて増加している。

4. その他の議題

- ①人手不足について (求人現状、労働環境の改善、外国人労働者の採用など)
 - ・女性をドライバーとして雇用したり、週3勤務や午前中のみ勤務で雇用するなど、多種多様な雇用形態を試して、人員確保に努めている。

- ・アルバイトとして時給を高めに設定して募集している。
- ・今までの相場よりも高めの給与で求人募集を行っている。そのため既存社員の給与もベースアップして調整をしなければならず、人件費がかなり上がってしまった。
- ・外国人技能実習生の受け入れ可能な職種にこの業界が認定されることを期待している。
- ・残業を無くし、週休2日制を導入した。
- ・来年から有給休暇を5日間取得させることが義務化され、また再来年からは残業時間の上限規制がスタートするので、そのための対応策の検討を行っている。

②関東・ナインドラゴン東莞工場視察報告

- ・ナインドラゴン東莞工場の視察報告資料を配布。視察では古紙の品質や2020年問題、ライセンス問題、マシンの増設計画などについて質疑応答が行われた。

③中部・ベトナム研修報告

- ・ベトナム研修報告(概要)を配布。HOPACO社、Phat Dat Paper社、Paper Village、Cat Lai港、正陽紙廠責任有限公司、DOHACO社、日本貿易振興機構(JETRO)ホーチミン事務所を訪問。
- ・詳しい視察報告については中部商組のホームページに記載。

④2020年問題に対する各社の考えと対策について

- ・特に対策は考えていない。基本的に輸入は止まらないだろうと楽観視している。
- ・中国にとって輸入古紙は現実的には必要なので、折衷案が出てくるのではと考えている。
- ・全く先が読めない状況なので、情報を出来るだけ多く入手して適宜判断していきたい。
- ・代替として古紙パルプの生産が可能かどうか検討はしているが、具体的に動き出してはいない。

5. 閉会の辞

紙朋会 塩瀬初代会長

この懇談会も当初は三地区で参加メンバー二十数名からスタートしましたが、参加メンバーの顔触れも変わり、時の流れを実感します。議題で2020年問題がありましたが、現在ヨーロッパも古紙の品質アップに力を入れており、品質の良い日本の古紙と近い将来バッティングする可能性が高いので、日本の古紙もより一層品質に力を入れていきましょう。それでは皆様、今夜は大阪の夜を楽しんでください。



【懇談会・閉会の辞】紙朋会 塩瀬初代会長

懇談会終了後、同会場にて懇親会が開催されました。近畿製紙原料直納商工組合 玉木理事の乾杯の発声で懇親会がスタートし、余興ではお笑い芸人が登場するなど大いに盛り上がった懇親会となりました。



【懇親会・乾杯の発声】近畿商組 玉木理事

最後は次回開催地区である中国地区・紙縁会の岩本会長の中締めで懇親会はお開きとなりました。

古紙センター「紙リサイクルセミナー」が 開催され、大久保理事長が講演

開催日時：平成 30 年 10 月 29 日 13 時 30 分～
星陵会館（東京都千代田区）

「古紙持ち去り行為撲滅に向けて
～これまでの取組と課題～」
講師 大久保 信隆 関東商組理事長



紙リサイクルの歴史とともに古紙持ち去り問題を
取り上げ、撲滅に向けた取組と今後の課題を講演。

《概要》

古紙の持ち去りは輸出価格の高騰に比例して増加しており、持ち去られた古紙は海外に輸出されているとみられる。2017年度の数字を見ると、373万tの輸出のうち約20%が持ち去り古紙である。

平成16年に東京都世田谷区で持ち去り業者13人が告発され最高裁で有罪が確定した。（世田谷区条例違反）関東一都六県ではこの判決を受けて約七割の自治体が持ち去り禁止条例を施行した。

平成25年にはGPSによる持ち去り追跡調査を自治体の協力を得て開始した。これにより常習的な買い入れ業者が絞り込まれ、3回のヒアリングの後、事業者名を示して警告を発した事実を公表した。

第48回関東商組通常総会（平成23年5月）において、古紙持ち去り問題解決には、取り締まるだけでなく、回収人の地位向上を図ることが重要と述べた。一方、違反行為を犯したならば、ペナルティが課され、持ち去り行為には取り締まる法令が不可欠。

製紙原料商は性善説によって営まれてきたが、利害関係が複雑多様化している今日、業界による自助努力だけでは限界で、何らかの法的枠組みが必要となっている。

古紙持ち去り行為に関する主な出来事

年号	年	月	出来事	業に関する法的規制	
昭和	30年代		町中に捨てられた屑を拾い集める(收拾人) → 第2種建場 → 直納問題 家々を回って買い集める(買出人) → 第1種建場	廃物取扱業に関する条例 <選分加工業:保健所の許可> <金属くず取扱業に関する条例 <公安委員会に届出>	
		40年代	集団回収・チリ交 回収手段 リヤカー・大八車から車へ		
	50年半ば		新聞販売店回収		
	57年	10月	びん・缶収集作業モデル実施		
	60年代以降		チラシ投込回収・戸別回収		
平成	4年	10月	資源ごみ収集のモデル事業実施(紙・びん・缶 月2回 足立・品川の2区) ※自治体の責任者が「民間でも行政でもいずれもゴミの減少につながるのだからゴミ直場から資源ゴミを持ち出してもらってよい」と発言 東京都が東京都リサイクル事業団体連合会(R団連)と資源回収事業について協議	廃棄物処理法(平成3年改正) 廃棄物再生事業者:知事による登録	
	7年		23区全域分別回収(回収団体に25%割り当てる)		
	9年	6月	資源回収モデル事業開始 (びん・缶・古紙のステーション回収 週1回 港・品川等6区の一部地域)		
	12年	4月	清掃事業の区移管 ※持ち去り行為活発化		
		6月	循環型社会形成推進基本法公布		
		12月	持ち去り行為の違法性に関する見解公表(関東商組)		
		9月	「抜き取り古紙の買取り防止」要望 (千葉県千葉市・市川市等13市から関東商組あて)		
		23年	10月	「STOP The 持ち去り」ポスター作成・配布	
		24年	11月	組合員除名(関東商組 臨時総会)	
		25年	2月	GPS追跡調査モデル実施(関東商組)	
		6月	GPS追跡調査本格実施		

今後の進むべき方向
回収人の社会的位置
づけの明確化
(古紙業界による自主的取組として)
持ち去り行為を撲滅する

(公財)古紙再生促進センター主催 第7回 日中古紙セミナーが盛況開催される

11月20日(火)、午後より千代田区永田町の星陵会館で、第7回日中古紙セミナーが開かれ、両国の多数の参加者で会場は満員となりました。

この日中古紙セミナーは日本で第1回目を企画(2011年10月11日)し、その後、交互の国で開催され今回は日本の番。参加者は中国から87名、国内から280名(合計367名)と大盛況となり、本年最も重要な課題である「古紙の品質規制」と「2020年を目途とした古紙輸入の制限」を正面から考える機会となりました。



中国側の講師として3名、日本側1名がそれぞれの課題を講演しました。今回も中国政府の意向があり、中国側のレジメは直前になって内容が原稿ごと差し換えられ、古紙の輸入問題の緊張感を表わしました。

以下、古紙再生促進センターが11月30日の業務委員会に配布した簡易版の報告書に添って、当日の議論の内容を要約してお伝えします。(渉外広報・IT委員会 須長利行 記)

I 内 容 (同時通訳で進行)

講演①「2017年中国古紙業界発展の現状と傾向分析」

中国再生資源回收利用協会
古紙分会会長

吳 涛(ウー・タオ)氏



中国古紙業界の新たな動向として、製紙会社傘下古紙会社の主な地域での大型古紙分別・加工センターの設立、大型エンドユーザーと協力

したクローズドループによるサプライチェーンの構築、環境保護監督の強化による規範化・集中化、情報化に力を入れた経営企業や第三者サービス企業の出現などがあげられる。

講演②「中国製紙産業の新たな局面、新たな機会、新たな課題」

中国造紙協会副理事長、江蘇省造紙行業協会会長

牛 庆民(ニュー・チュンミン)氏
(江蘇省紙聯再生資源
有限公司 董事長)



中国の製紙業界は2017年は過去最高の利益を記録したが、2018年は省エネ・汚染物質排出削減、環境保護関連検査の圧力に対応しながら、原料入手のために奔走する状況であった。ただし、長い目で見れば環境保護政策の積極的な実施は、中国製紙産業のグリーンな体制への転換、レベルアップを推進し、製紙産業のハイクオリティな発展につながる。

講演③「古紙輸入ゼロ? 中国製紙業界の課題と対応」

RISI-UMPaper 助理總監
冯 艳(ファン・ヤエン)氏



中国古紙輸入政策の影響により、いくつかの変化が現れた。1つ目は古紙輸入量が大幅に縮小したこと及び輸入する製紙会社の集中度が高まったこと、2つ目はベトナムと台湾が主要供給源となり、古紙パルプが市場に流入したこと、3つ目は中国国内の古紙の回収量が急速に増加したこと、4つ目は中国国内古紙の価格が

上昇したことである。

講演④「日本における古紙品質向上の取組と課題」

関東製紙原料直納商工組合
経営革新委員会委員長
新井 重樹氏
(株式会社新井商店
代表取締役副社長)



新井講師のパワーポイントからピックアップした重要な課題としては次の通り

1. 日本の古紙のフローや数量及び回収や利用率の説明
 2. 日本の古紙リサイクルの歴史
 3. 日本の古紙品質向上についての取り組み、回収現場の教育された分別収集
 4. 全原連の優良性評価事業の説明
 5. 牛乳パック回収活動や「コロッケ先生」の小六氏はじめ、各地の古紙分別出前教室の活動
 6. 排出者、行政、古紙業者、メーカーを支える善意の「こころ」でのリサイクルへの協力
- このように、日本における古紙のリサイクル及び品質は、住民による分別排出、行政の品目別回収、製紙会社の古紙利用拡大、古紙問屋の禁忌品選別除去や優良性評価事業の実施、出前授業などの意識啓発活動に支えられている。

質疑応答〈右端の栗原紙材(株) 鄭 秉毅 (テイ・ハイキ) 開発営業部課長代理が通訳〉

質問：中国政府より、2020 年末までに固体廃棄物の輸入をゼロにするとの発表がある。



る。講演の中で中国沿岸部ではすでに古紙の回収がほとんど行われていること、中国製紙産業は今後増産を計画していることを説明されたが、今後の製紙原料の調達方法は？

回答：冯 (ファン) 講師

⇒2020 年末までに固体廃棄物の輸入がゼロになるのかどうか、段階的に行われるのかどうかは誰もわからないが、輸入古紙以外の製紙原料の調達方法は、2つ考えられる。

1つは沿岸部 (都心部) から遠いまだ回収されていない地域の古紙の回収、もう1つは古紙パルプの輸入。大手製紙会社は東南アジアなどで古紙パルプを製造し、中国に輸入している。

回答：牛 (ニュー) 講師

⇒同様に、2020 年末までに固体廃棄物の輸入がゼロになるのかどうかはわからないが、廃棄物をゼロにすると明記されているため、古紙がごみであると認識されなければ古紙は輸入ゼロにはならないのではないかと。また、今年古紙への禁忌品混入許容割合を 1.5% から 0.5% に引き下げたが、2020 年末までに古紙の輸入をゼロにするのであれば、そのような処置は行わないのではないかと。

II リサイクル関連施設見学 (関東商組の首都圏のヤード各店が視察に協力)

各訪日団は関東商組とセンターの協力で、11 月 21 日を軸に熱心な訪設見学を実施しました。

1. 北京訪日団 中国再生資源回收利用協会関係者 31 名
東京たま広域資源循環組合 (二ツ塚処分場)、柳泉園組合、JFE プラリソース(株)、JFE 環境(株) (ペットボトルリサイクル工場)、JFE アーバンリサイクル(株) (家電リサイクル工場)、(株)山室 保土ヶ谷店
2. 南京訪日団 江蘇省紙聯再生資源有限公司 (南京) 関係者 30 名
(株)大久保 戸田営業所、(株)富澤 彩京資源化センター
3. 無錫訪日団 江蘇省紙聯再生資源有限公司 (無錫) 関係者 26 名
(株)新井商店 綾瀬営業所、美濃紙業(株) 東雲営業所

栗原正雄・全原連理事長の 《旭日中綬章受章祝賀会》開催

620 余名が、リサイクル業界初の中綬章受章を祝う。



全国製紙原料商工組合連合会（以下、全原連）理事長の栗原正雄氏は、今年春の叙勲で旭日中綬章を受章。これを記念する祝賀会が10月20日東京・港区の東京プリンスホテル“鳳凰の間”に於いて開催され、620余名がリサイクル業界初の旭日中綬章受章を祝った。

開会の辞は、発起人の全原連 矢倉義弘・副理事長（近畿製紙原料直納商工組合、大和紙料）が述べ、発起人を代表して全原連副理事長、関東製紙原料直納商工組合（以下、関東商組）大久保信隆・理事長（大久保）が挨拶した。

祝辞では、世耕弘茂・経済産業大臣、資源リサイクル議員連盟顧問 額賀福志郎・衆議院議員、日本製紙連合会 矢嶋進・会長（王子ホールディングス・社長）、日本製紙 馬城文雄・社長（代読、瀬邊明・参与原材料本部長）、レンゴー 長谷川一郎・代表取締役兼副社長執行役員、東京国税局間税会連合会 片岡直公・会長（全日警・会長）、自衛隊東京地方協力本部 荒井正芳・本部長（陸将補）がそれぞれ栗原氏の功績と人柄を称えた。

続いて、司会の森麻季さんが、当日出席の国

會議員、額賀福志郎、平沢勝栄、富田茂之、松原仁、松島みどり、井上信治、葉梨康弘、辻清人、鈴木隼人（以上、衆議院議員）、世耕弘成、中川雅治（以上、参議院議員）、古賀俊昭、山崎一輝（以上、都議会議員）、服部征夫・台東区長、藤沢志光、茂木弘（以上、荒川区議会議員）、小磯明・東京都議会自由民主党政策参与の各氏を紹介。

記念品の贈呈は、全原連の菊池初彦・副理事長（静岡県製紙原料商業組合、丸元紙業）から高価な有田焼の花瓶、関東商組は大久保信隆理事長から高級万年筆が贈られた。

これらのお祝いに対し、栗原氏が謝辞を述べた。

乾杯は、紹介された議員、祝辞を述べた来賓の方々を初め、（公財）古紙再生促進センター 渡良司・理事長（王子ホールディングス・副社長）、日本製紙連合会 羽山正孝・理事長、日本再生資源事業協同組合連合会 飯田俊夫・会長、日本紙パルプ商事 野口憲三・会長、同・渡辺昭彦社長、日本製紙 小林正夫・元社長、同・井上茂・執行役員関東工場長、日本製紙木材 羽山邦彦・社長、レンゴー 西村修・利根川事業所長（専務執行役員）、高砂製紙 須藤永作・社長、王子ホールディングス 鎌田和彦・取締役常務グループ経営委員、大和板紙 北村光雄・会長、大王製紙 佐藤潤・執行役員



資材購買本部長、いわき大王製紙 清水康徳・社長、北越コーポレーション 草加信平・原材料本部長、藤島部屋後援会 北尾武・会長（鳳友産業グループ会長）、藤島部屋 藤島武人・師匠、発起人代表 全原連 大久保信隆・副理事長が登壇。代表して渡良司氏が挨拶とともに発声を行った。

祝宴では祝賀演奏として、栗原氏の長女でソプラノ歌手の栗原利佳さん、テノール歌手のニコラ・ロッシ・ジョルダノ夫妻がナポリ民謡やオペラの曲を歌い、フラダンスをシスターズアイナ・フラダスタジオの皆さんが踊り、会場内を盛り上げた。

中締めは、全原連 岩渕慶太・副理事長（九州製紙原料直納商工組合、イワフチ）が、閉宴の言葉は全原連 石川喜一郎・副理事長（中部製紙原料商工組合、石川マテリアル）が述べて、栗原氏の叙勲を祝う祝賀会は、めでたくお開きとなった。

【祝辞（要旨）】

世耕弘成・経済産業大臣

栗原理事長は若い頃から50年以上にわたって、古紙ビジネス一筋で頑張ってきて、古紙リサイクルの重要性と意義を提唱されてこられました。我が国の古紙リサイクルシステムの構築に大変大きな貢献をして頂きました。

この古紙リサイクルで不可欠なのは、自治体と地域に住んでいる人々と、そして製紙業界、この3つがきちんとバランスのとれた連携がないと、この古紙リサイクルはなかなかうまくいきません。栗原理事長は、その三者の間に入ら



れて、リーダーシップを発揮して、その関係者の連携をしっかりと調整して頂き、卓越した手腕を発揮して頂いた訳です。

栗原理事長が理事長に就任されてから、この古紙の回収率が大幅にアップ致しました。まさに栗原理事長の力量が表れているところだと思います。そして、ビジネスの世界で大きく貢献をされるだけではなく、先程も話がありましたように、自衛隊員を自分の会社で採用して頂くなど、社会的にも色々な貢献をたくさんしてきて頂いた訳です。

ただ、古紙リサイクルというのは、今大きな曲がり角に直面をしています。国内需要はだんだんと減り始めてきています。そして今、中国へ輸出を始めている訳ですが、中国では今、輸入規制が掛るといような環境変化も起こっています。また、アメリカと中国の激しい貿易摩擦、これにも影響を受けるのではないかとこのように言われています。なかなか先の見通しが立たない、不透明、不確実な時代が、古紙リサイクルの業界までやってきている訳です。

そうした中で、栗原理事長の更なるリーダーシップが、期待をされている訳です。この業界の関係者の中の難しい調整をしっかりとやって頂いて、不透明な国際情勢にもしっかりと立ち向かっていくためには、栗原理事長の引き続きのリーダーシップが、まだまだこの業界には必要だということに思っています。



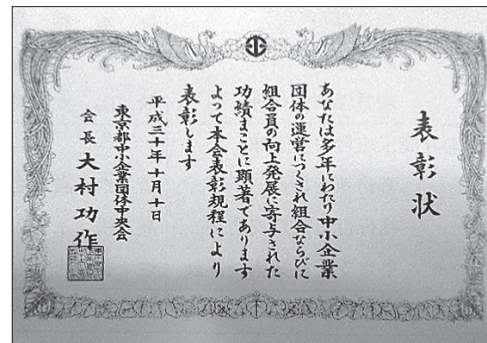
平成30年度 東京都中小企業団体中央会表彰式

平成30年10月10日（水曜日）東京都中小企業団体中央会表彰式が秋葉原コンベンションホールにて、組合功労者142名の表彰が行われました。関東商組からは4名の理事・前理事が組合活動の発展に寄与した功績が顕著な組合功労者として、東京都中小企業団体中央会会長賞を授与されました。

〈受賞者〉

- 齋藤 米藏 副理事長
- 小池 茂男 理事
- 海原 健二 理事
- 土方 十四江 前理事

(被表彰者名簿順)



(左)齋藤副理事長 (中央)土方前理事 (右)小池理事

特集企画～古紙の品質対策 第3回 「異物混入」 禁忌品A類

今号では、禁忌品A類が、製紙原料に混入していた写真を集めました。私達は40年間、古紙のペイル品を長年見てきましたが、「これはひどい…」とってしまう写真がいくつかあります。従事年数が短い人の中には「そんなにひどいようには…」とと思っている人がいるかもしれません。品質の目線は「お客様」です。その目線で集めた写真を特集しました。この写真を社員さんの品質教育に役立ててください。(写真提供/(公財)古紙再生促進センターより、会員メーカー各社から)

■ ロウ引き ロウ段 油染みの原因



■ 建築廃材 (木質ボード)



■ A類金属異物 パルパーの羽（刃）の破損原因



アルミ板



金属物（約30cm×約70cm、重量8kg）



金属物（約15cm×約60cm、重量15kg）



金属物（約50cm×約100cm）



金属物



パイプレンチ（90cm 厚さ6cm）

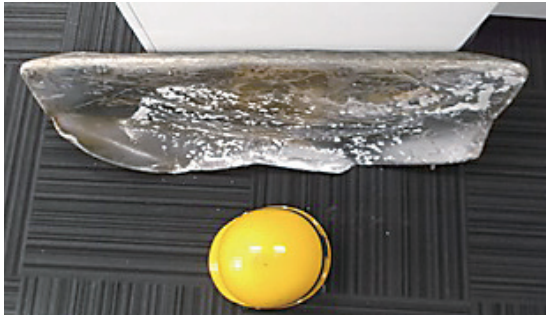


タイヤ（幅19cm 直径75cm）



鉄のベアリング

■ A類金属異物 パルパーの羽（刃）の破損原因



鉄板
(約40cm×約100cm。重量：約20kg程度。)



アルミ片
(寸法：5cm×40cm)



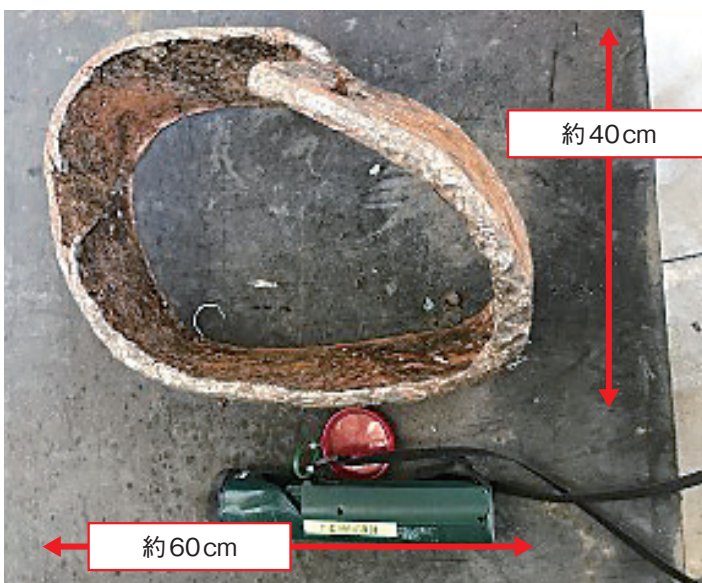
アルミ片
(寸法：10cm×90cm)



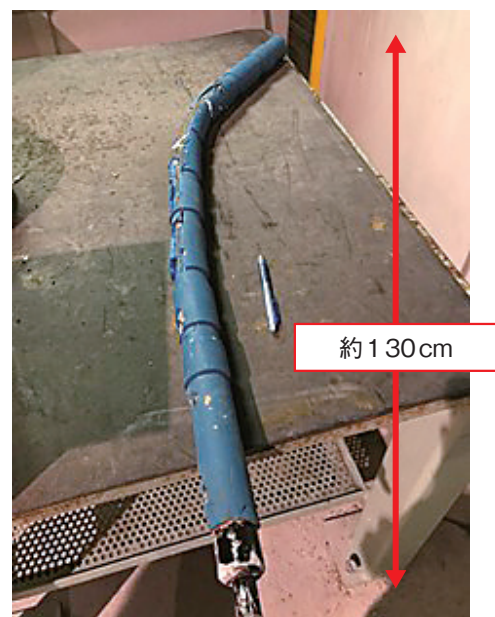
パルパーの詰まりの原因・操業低下



チェーン



鉄板 (厚さ 1.5cm)



鉄芯 (直径 約6cm)



鉄アレイ、レンチ2本



縞鋼板 (寸法 120cm×90cm×1.2cm重量 約100kg程度)



棒状の金属板



鉄片



鉄板 (100cm×110cm 厚さ0.9cm 重量70kg)

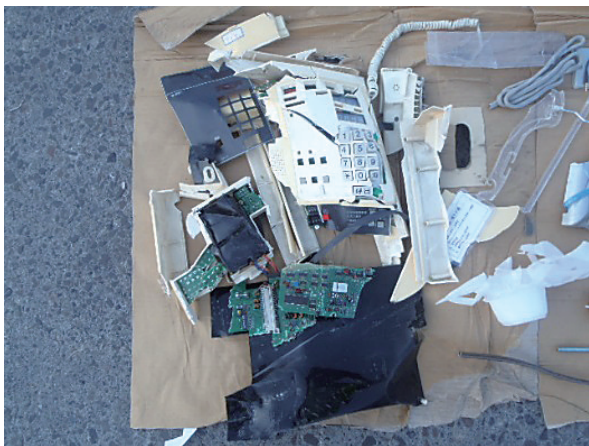


鉄板 (75cm×10cm 厚さ2cm)



鉄製ハンマーのヘッド
直径30cmの円形鉄板 (重量40kg)
20cmの金属異物46個

■ その他 異物 A類 プラスチック等の異物



次回 4月20日(春号)では、異物混入の第2弾として「禁忌品B類ほか」の実例写真を中心に掲載いたします。
〈次回も付録に実例ポスターを付けます〉

委員会トピックス

経営革新委員会

研修旅行 IN 沖縄

報告者：委員長 新井重樹

10月21日～23日の2泊3日にて、経営革新委員会では、2016年9月に伊勢神宮、賢島に行って以来2年ぶりとなる研修旅行を実施しました。

今回は7名の参加で行って参りました。参加者は委員長の私（新井）、副委員長の栗原護さん、近藤浩富さんと佐野正和さん、阿部貞二さん、斎藤彰さん、小塚静さんです。

羽田から空路で沖縄へとお決まりパターンですが、今回、めずらしくスカイマークを利用したので、若干1名ほど、集合場所に中々現れない方もお一人いました。しかしほどなくして、集合。一路、那覇へ。

10月中旬すぎですが、沖縄は暑く、着いた日は最高気温27度、半袖で十分でした。汗ばむ陽気で東京との気候の違いを実感。改めて日本列島は南北に長く、季節が違うことを実感しました。

まずは視察先の「株式会社トリム」へ。こちらは廃ガラス再資源化プラントを持ち、家庭系の瓶の資源化に取り組む会社です。



処理の方法はまずガラス瓶を粉碎し、燃成発泡させることで成形した人工の多孔質軽量発泡資材（かるいし）なるそうです。

商品名は「スーパーソル」です。不思議な「かるいし」で、まず非常に軽く、排水性も良く、植物は良く育ち、水質の浄化にもよく、これらで濾過した水は通常の水より、大腸菌などの細菌が少なく、飲んで大丈夫な水にもなるので井戸の周りでも利用されているとのこと。その他公共工事等の路盤材にも使われ、多種多様な使い道がある製品になっていました。



会社でPR用DVDを観賞し、工場見学、日曜日だったので実際の稼働はありませんでしたが、騒音もそれほどでもないこと、燃成しているので室内は若干暑いかな程度のことでした。

古紙以外のリサイクルについての勉強になりました。ガラス瓶のリサイクルについての知見を深めました。その後、首里城に行き、琉球王朝の名残を見学し、ホテルにチェックイン後、夕食は豚しゃぶを堪能して1日目を終わりました。

2日目は、沖縄本島東側の宮城島にある塩工場「ぬちまーす」を見学です。途中、うるま市を通り、海中道路へ。（こちらは左右とも海というとても景観がよいところです。）途中のドライブインからも素晴らしい海と景色が眺めら

れました。「ぬちまーす」の意味は「ぬち」は“いのち”、「まーす」は“塩”です、つまり、“命の塩”です。「ぬちまーす」では、特許取得している独特の塩製造工程を見学しました。工場のあるところも素晴らしい景勝地で、こちらから眺める海は格別でした。



その後、昼食は鉄板焼きステーキを食し、泡盛を造っている酒造へ。名護市にある「ヘリオス酒造」を訪ねました。戦後間もなくから、酒造を立ち上げ泡盛を生産している工場です。

工場内は、澆漉とした（昔日の）美女に案内と説明をして頂きました。黒麹を原料としているので、工場内や倉庫の外壁のところどころに黒っぽい汚れがありました。説明によると発酵した黒麹が空気中で付着したとのこと。

現在、2000年に醸造した100年もの古酒を創る事業を行っており、大樽の前で記念写真を撮りました。82年後の2100年にはどんな泡盛が出来ているか楽しみです。今回の参加者では、誰もその時には御存命ではないでしょう？工場売店でいろいろな泡盛を試飲し、お土産を買い、工場を後にしました。2日目の宿泊は恩納村にあるリゾートホテルです。

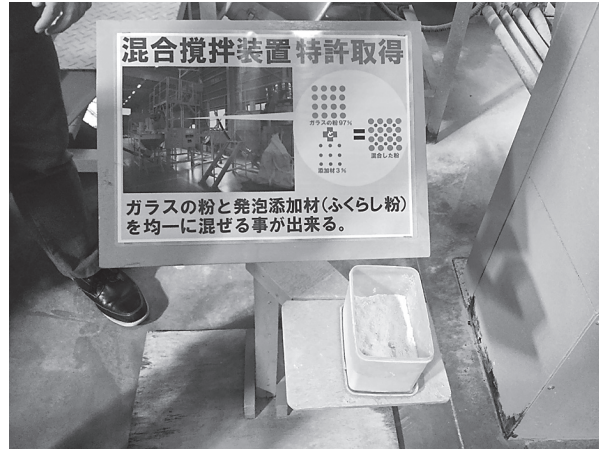
ホテルについては、まずは移動委員会を開催、小一時間ほどのミーティングを行いました。議題は、「11月20日に行われる日中古紙セミナー」と「今後及び次年度活動計画について」それぞれについて意見を活発に交換しました。委員会後の夕食はホテルのテラスでバーベキューを楽しみました。

3日目はゴルフ組と観光組の2グループに分かれ、観光組は、沖縄北部にある美ら海水族館を見学しました。それぞれのグループで最終日の沖縄を満喫しました。

帰路も那覇空港から羽田空港へフライトし、到着ロビーにて解散。

今回は、日頃の委員会活動における疲れを癒し、これからの委員会活動への英気を養う良い機会を頂いたと思います。本当にありがとうございます。議論して実行しなければならない課題の多い委員会ですが、委員会メンバーとのコミュニケーションを密にして、今後も委員会活動を行っていく所存でありますので、組合員の皆様には、今後ともご支援とご協力のほどを宜しくお願い致します。





安全防災委員会

中部ファイバークラブと関東商組安全防災委員会との意見交換会 開催報告書

報告者：栗原紙材株式会社 上原 崇志

■開催趣旨

現在、関東商組安全防災委員では全組合員の無事故・無災害を目指し、安全DVDの作成、安全セミナーの実施、事故・災害の撲滅にむけた啓発物（ポスター）を作製する活動を行っています。今回の意見交換会は、全原連加盟各単組の組合員と安全に対する取組みや意見を、直接聴取・反映し、全組合員の無事故・無災害を達成する為に開催しました。

■概要

日時：平成30年11月14日(水)
11時30分～14時30分

場所：ABOホール
(名古屋市中村区名駅3-15-9)
参加人数：計23名
中部ファイバークラブ 13名
関東商組安全防災委員 9名
中央労働災害防止協会 1名

■内容

●2019年度の安全ポスター作製について

今年度の年間ポスター（関東Ver）を参考に、中部らしさをだしたデザイン、フレーズについてそれぞれ意見を出し合い、来年度のキャッチフレーズを決定しました。2019年度キャッチフレーズは下記の通り。※ポスターは2019年4月配布予定

年間キャッチフレーズ

『いざ新時代へ!!
～変革せよ！変化を迫られる前に～』

尚、今回出た意見の中で、安全に対する啓発物だけでなく、天災・ハラスメントをコンセプトにしたポスター作成要望が出た為、春・秋のリーフレットで作製検討する事となりました。

●各社の安全への取り組みについて

安全への取り組みについて各社より発表があった。取り組みは以下の通りです。

- ・ドライブレコーダーの全車両導入とヒヤリハット映像の作製
- ・ドライバー安全教育体制の整備。新人ドライバーには本社での安全講習と本社管理者同乗研修、重大事故惹起者には役員面談、営業所のドライバー指導者には外部同乗研修を実施
- ・社内独自の安全・回収マニュアル手帳を作製し配布
- ・「防災月間」「交通安全・安全作業月間」を年2回ずつ設定し各事業所に防火安全意識を高めてもらう取り組みを実施
- ・2ヵ月に1度各事業所の工場長を集め5s会議という名目で安全作業について会議を開催。会議の中で年間の取り組みを各事業所発表し優秀事業所を毎年決め表彰
- ・ドラレコの運転点数を用いて、毎月最高得点者に金一封を贈呈
- ・ストレスチェック年一回実施、パワハラ・セクハラ研修、目安箱の設置
- ・安全記録証明書の取り寄せ・分析
- ・パッカー車かき込み部テーブル下に緊急停止ボタンを追加
- ・灯りをLEDに変える

●最近の事故事例と対策

事例	対策
高さ制限がある高架をくぐり、上を激突	全車両に高さを記載したシールを貼った
ユニック車のブームをあげたまま走行した為、電線を切りそうになった	車内にブーム確認シールを貼った

サイドブレーキ引き忘れ、バックモニターの過度信用、アームロールのフック確認	輪留めの徹底、目視確認
リフト転倒。後進するリフト、誘導者の接触、ローラー巻き込み	舗装、声掛け、カバー

●その他

今回の会議にはポスター作製のデザインを委託している中央労働災害防止協会（以下、中災防）の保坂氏にも参加いただいた。中災防では中小規模事業場安全衛生サポート事業という支援を無料で行っている（条件有）。安全衛生の専門家のアドバイスを直接受けられ、作業環境の改善方法やヒューマンエラー防止対策の講義も受講でき、社内安全教育の一つとして多くの企業が申し込んでいるとのこと。

詳しくは中災防 HP まで (<https://www.jisha.or.jp/>)



中部ファイバークラブとの集合写真



会議の様様



会議の様



伊勢神宮 (内宮)



伊勢神宮 (内宮)



伊勢神宮 (内宮)



会議の様



会議の様



中部ファイバークラブのメンバー



手水舎 (ちょうずや)

新社長紹介



株式会社村松紙業
代表取締役 村松 修

この度、株式会社村松紙業の代表取締役に就任致しました村松修と申します。

弊社は今年で創業68年目となります。歴史のある業界で長く商売を続けさせていただいているのも、様々な方々のご支援があったからこそと感謝しております。

子供の頃は、会社に連れてこられ、新聞の山で遊び、雑誌は読み放題で、会社には遊びに来ている感覚でした。

大学卒業後、東日本銀行に三年間勤務しました。短い期間でしたが、預金・融資・渉外と一通り経験させていただきました。

勤務時間が長く遠距離通勤で大変な事もありましたが、同僚・先輩達との独身寮生活、同僚達との旅行など短いながらも充実した三年間を過ごせました。

1995年に株式会社村松紙業に入社しました。

入社した頃は、入荷に対して出荷がなかなかできず、古紙が倉庫にたまる一方で、1997年頃は大余剰が社会問題化されました。

赤字を出しながらコンテナ輸出を続けて、受入を滞りなく行い、日々どのように在庫を減らすかを終始考えておりました。現在では全く逆の状況になっており、将来の状況はなかなか予想しづらいものだと思っております。

仕事柄なかなか休みを取るのには難しい状況ですが、現在は長男の硬式野球（遠征や審判など）、次男と三男の競技ドッジボール（遠征や練習など）と仕事で毎週末はどのように過ごそうか、考えるのも楽しみの一つとなっております。

微力ではありますが、社業の発展と業界の発展に少しでもお役に立てるように努力致します。

皆様方の御指導御鞭撻を賜ります様、よろしくお願い致します。



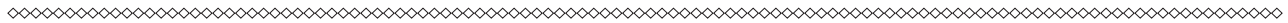
三紙会 *Tweet* 「今年やりたいこと」



株式会社山室
宮下和丈

あけましておめでとうございます。さて、「今年やりたいこと」ですが……、あまり考えたこともなく、具体的に思い浮かびません。ただ、妻や子供たちから常に言われている「お父さんにやらせたいこと」があります。それはズ

バリ禁煙です。妻からは、タバコを止めれば家族で豪華な旅行に行けるのに！と言われ、7歳の息子と5歳の娘からは、タバコ臭い！外で吸ってきて！と言われます。確かに百害あって一利なしと言われますが……。よーし！「今年やりたいこと」ですが、『禁煙』をしない！で決まりです。

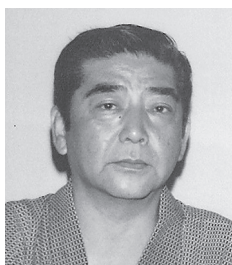


王子齋藤紙業株式会社
足立 進

「今年やりたいこと」とお題を頂戴し、40歳も超え街中にあふれる「健康」のフレーズも気になり始めている。ちょうどいい機会ですので現場を離れ丸っこくなくなったこの身体をスリムなあの頃を目指し、2019年は運動と食

生活改善を取り組みたいと思います。まずは定番の炭水化物の量を減らし間食は控える。適度な運動として目に見える形で万歩計を利用し、「一日一万歩」歩くことを目標に取り組み継続をしていきたいと思います。2019年もよろしくお願い致します。

株式会社近藤商店
近藤 國 宏



西暦 2019 年、平成 31 年ですが、今年は新しい元号に変わる年ですね。

テーマは「今年やりたいこと」ですが、私ぐらの年齢に成りますと、これといってなく、今更という思いです。しいて言うならば「体重を少し減らしたいとか?」「タバコを止めたいとか?」前年も思っていますが、なかなか難し

いことでした。思いつく事は、具体的にそれ位で、あとは私達家族の健康とか子供 3 人も結婚してそれぞれ家族を持っていますので、孫も含めて幸福な年で有る様に願う気持ちです。

今年も美味しい食べ物を食べ、美味しいお酒を飲み、親しい人達と旅行をしたりゴルフをしたりして今年も充実した 1 年を送ればよいと思っています。

株式会社小池商店
小池 茂 男

皆様、新年明けましておめでとうございます。今年も宜しく願い申し上げます。

去年は、古紙の価格の変動が激しく、まさに激流をかき分けながら下っていくような 1 年間でありました。常に穏やかな流れに身を任せ、周りの風景を楽しむ余裕があれば良いのにと内心恨めしく思いながらも、社内的には大きな事故も無く、猛暑で倒れる社員もおらず健康で過ごせました事を心より感謝しております。

さて、今回「今年やりたいこと」というテーマを頂きましたので何をしようかと考えまして、今年の夏にはリバーボード（ハイドロスピード）

に挑戦してみようと思っております。一人乗りのゴムボートに腹ばいになりながら、急流を下るスポーツです。ひとしきり遊んだ後に焼き立てのイワナとお酒を飲めたら最高です。今年もどんな 1 年になるか分かりませんが上手く波に乗りながら乗り切りたいと思っております。

皆様にとって良い年になりますよう心よりお祈り申し上げます。



支部だより

東京都西支部

研修旅行報告（熊本）

報告者：(株)こんの 営業課 高橋 雅之

視察日：平成 30 年 11 月 15 日(木)～16 日(金)

視察先：①有価物回収協業組合 石坂グループ
本社工場 熊本市東区戸島町 2874
②株式会社 エコポート九州
熊本市西区新港 1 丁目 4-10

■参加者（敬称略・順不同）

(株)平松商店	平松 邦明（支部長）
(株)富澤	瀧本 義継
栗原紙材(株)	勅使川原 文夫
(株)國光	朝倉 行彦
(株)中田	中田 章
(株)小池商店	小池 茂男
(株)市川商店	市川 哲也
(株)工藤商店	島田 秀彦
井出紙業(株)	井出 一之
三弘紙業(株)	吉住 英樹
(株)こんの	高橋 雅之

計 11 名

■アテンド

J P 資源株(株)	
代表取締役社長	渋谷 則幸様
取締役	佐野 正和様

● 11 月 15 日(木)

今回、初めて東京都西支部の研修旅行に参加させていただきました。

早朝に羽田空港に集合し、空路熊本へ。草千里から噴煙を上げていた雄大な阿蘇山を眺めながら昼食の後、2つの企業を視察させていただきました。

- 1) 有価物回収協業組合 石坂グループ 本社工場
(応対者) 専務理事 伊藤 禎之様



伊藤・専務理事

[概要]

- ・本社工場を始めとして、熊本市内に三箇所のリサイクル工場を保有している。全ての事業所で行政受入をしており、取扱品目はビン・缶・プラ・木屑・鉄類・非鉄・古紙に至るまで総合リサイクル企業として経営している。
- ・また、各地での大規模自然災害発生時は積極的に木屑の処理をした実績がある。
- ・グループ全体として年間約 25,000 t の処理をしている。扱いの殆どは廃プラとなるが、古紙は年間 8,000 t の持込となる。
- ・インターン受入や体験学習にも力を入れて



[集合写真] 石坂グループ 本社工場

おり、年間 2,000 人を目標に、地域の小学生・中学生の他、婦人会・老人会の受入も実施しているとのこと。



石坂グループ 概要説明の様様



石坂グループでの視察の様様

2) 株式会社 エコポート九州
(応対者) 代表取締役専務 小杉 一樹様



小杉・専務取締役

[概要]

熊本市西区に本社工場を構え、設立は平成

19年 10月となっている。熊本県に留まらず、九州地区の行政を中心とする、廃プラ・木屑・古紙の取扱をしている。

以下、大まかに六つの事業を記載致します。

①プラスチック一次選別事業

市町村や民間企業から排出されるプラ系容器包装を選別し、プラ素材以外の紙くず・金属くず等を取り除き、プラ製容器のみプレス圧縮している。特徴としてはビニール梱包の為、悪臭発生の抑制が出来ている。

②プラマテリアル事業

最新鋭の自動選別機を取り入れ、素材別に選別する事が可能となっている。その中でも光学選別は素材ごとの選別が可能となっており、単一素材の高純度なペレットが生産可能となっている。

③機密文書溶解事業、

生産能力 48t/日のマシンを稼働されている。セキュリティシステムと監視モニターを設置しており、安全・迅速に情報を溶解し、製紙原料となる古紙パルプの生産をしている。

④クレープ紙製造事業

機密文書や新聞古紙を原料に、緩衝紙を製造している。引越し時の緩衝材の他、貴重な瀬戸物の梱包にも重宝されている。

⑤木質ペレット製造事業

廃木材を破砕した木質チップを原料としており、使用用途としてはペレットストーブ



エコポート九州

燃料の他、電力会社の発電燃料としても利用されている。

⑥ RPF 製造事業

廃プラ類、木屑、紙屑から作られる固形燃料。その特徴として塩素系プラを除去している事もあり、高品質な RPF 製品となっている。



エコポート九州 視察の様様

【まとめ】

2社共に共通として総合リサイクルの仕組みを全て同じ敷地で取り組む事で、行政・民間からの信頼が絶大と感じました。また、リサイクルだけではなく、社内教育制度・地域貢献の仕組みも素晴らしいと感じました。

地域に愛される事で、必要とされる企業創りのヒントを沢山頂戴致しました。

お忙しい中、快く我々の視察を受け入れてく

ださいました2社の皆様並びにアテンドくださいましたJP資源(株)渋谷社長、佐野取締役にはこの場をお借りし御礼申し上げます。

● 11月16日(金)

熊本から県境を越え宮崎へ……天岩戸開きや天孫降臨の地として有名な“高千穂エリア”を見学しました。高千穂峡は生憎曇天小雨模様で見学でしたが、神秘的かつ雄大な自然を満喫することができました。

和気あいあいとした2日間の視察研修旅行を終え、羽田空港で無事解散。旅行中、参加者の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

この旅での“パワースポット(神社)巡り”を機に「ご朱印集め」を始めた参加者が大勢いましたが、そのご利益やいかに……



高千穂峡にて

神奈川県支部

秋季研修報告(福井)

報告者：株式会社 富澤 小倉 勇輝
株式会社 中田 城所 益一

期 間：平成30年10月12日(金)～14日(日)

参加者：(株)金澤紙業 金澤基彦
(株)二見 須長利行
(株)國光 紺野浩史
こづか(株) 小塚 静
(株)タンザワ 中村幸司

関東紙業(株) 水野俊幸
(株)ツルミ紙業 奥山一明
三弘紙業(株) 関 高男
三弘紙業(株) 大森博昭
(株)大久保 西川友明
(株)山愛 山田浩明
(株)富澤 小倉勇輝
(株)中田 城所益一
美濃紙業(株) 近藤浩富
むさし野紙業(株) 涼川政春
敬称略 順不同
参加社：14社(15名)

◎ 1 日目（報告者：小倉）

羽田空港に7:40集合、飛行機のトラブルがあり、40分遅れで出発しました。気温は20度で快晴と天気にも恵まれ過ごし易い気候でした。

出発の遅れのため参拝予定の永平寺は残念ながら食事のみになってしまいました。

昼食後、バスにてレンゴー株式会社金津工場へ視察に向かいました。

レンゴー(株)製紙部門金津工場 高橋浩一・総務部長代理兼総務課長、南裕幸・工場長、東部営業部営業課 田中雄児・主任に快く迎えられ、会議室にて工場の概要を説明していただきました。

金津工場はダンボール原紙（ライナーと中芯）を抄造しています。

敷地面積 270,000㎡、日産 810t（中芯）930t（ライナー）を抄造しています。

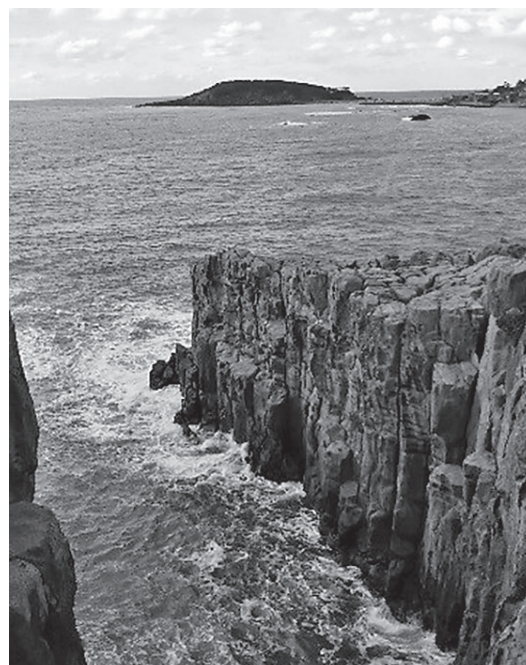
昨年10月に中芯原紙およびライナー原紙併抄可能な設備に改造され最先端の設備・生産システムで高品質を実現されたとのこと。

工場内の電力はすべて自家発電で供給されており、その電力の余りは売電しているそうです。徹底した安全管理で指差し呼称や工場内の美化。そして人の目で製品の仕上がりを確認。何より驚いたのが音が静かなことです。ドライ

パートにより音と熱が遮断されています。リールによる巻き取りスピードもあつという間でした。

最先端の設備を駆使し段ボール古紙等を97%リサイクル活用し、原紙調成から抄紙までの工程を総合的に管理する一貫生産体制を構築するすばらしい工場でした。

工場見学を終え東尋坊へ向かいました。国の天然記念物に指定され波の浸食により断崖絶壁が1kmも続く奇勝地で波風を感じながら景色を堪能しました。



東尋坊の断崖

夜は市内にて宴会を行い、支部員同士の懇親を深めました。

◎ 2 日目（報告者：城所）

ゴルフ組と観光組に分かれ、ゴルフ組は「能登カントリークラブ」へ向かいましたが、午後の近江町市場での買い物が気になり昼食もとらずにプレーしたそうです。天気にも恵まれ、みなさん最高のプレーと観光が出来てとても喜んでおられました。

私は観光組に参加し、「箔巧館」で金箔の貼り付け体験をしました。



レンゴー金津工場前にて



箔巧館で「箸」に金箔を貼り付ける様子

埼玉県支部

研修旅行報告（大阪・京都）

報告者：株式会社 ウェル 金久保 裕正

窓からブルーシートで応急処置された家々が散見されるなか新幹線は新大阪駅にゆっくりと停車。

9月4日西日本を縦断した台風21号の爪痕を感じつつ、埼玉県支部の研修旅行が10月12日・13日の1泊2日で実施されました。

参加者は近藤支部長（株）ブシュー）をはじめ総勢18名。

今回は研修先としてレンゴー(株)尼崎工場を見学させて頂きました。

同工場でも台風の影響は大きく、工場内の明り取り用の窓はほとんどが割れ、破片が雨の様に降ってきたとのこと。一時的に生産をストップしたものの、夜を徹した復旧作業で翌日には再開。操業70年の歴史の中で培われた逞しさを感じました。

大阪駅からバスで約30分。神崎川とその支流・左門殿川を渡り、大阪府と兵庫県の県境にある同工場は、敷地面積約7万㎡、社員数210名、年間生産量398万t。京阪神のど真ん中に位置し、原料古紙調達の優位性を生かしつつ、3機の抄紙機（中芯、ライナー、紙管）を改良

しながら、生産性を高める努力を惜しまない社員の方々の熱気に包まれています。

特に中芯は生産量の6割占めておりLCC中芯は120g/㎡で160g/㎡と同等な強度を実現。2016年にはガスタービン2基を設置し工場内全てを自家発電化し6千t/年のCO₂削減を可能にしました。『Less is more（少ないことは豊である）』をスローガンに、徹底した効率化を目指しています。

ちなみに尼崎工場では匂い付き古紙の選別に犬の手助けは無く、人間の嗅覚に頼っているのが現状とのこと。

今回の工場見学に際しては、レンゴーペーパービジネス(株)齋藤部長に大変お世話になりました。また、尼崎工場・村井工場長をはじめ、山本部長代理、杉岡部長代理の丁寧なご対応に心から感謝申し上げます。



レンゴー尼崎工場前

初日の工場見学後、夜は「なんばグランド花月」にて吉本新喜劇を観賞し、本場の笑いにテンションが上がりつつ懇親会へ。2日目は京都に移動し、伏見稲荷大社、清水寺を観光しました。

幸い2日間とも天候に恵まれ、無事研修旅行を終えることが出来ました。

近代化の進む大阪市内と伝統ある京都の街並みに、新しいことに挑戦しつつ、伝統ある社風を大切にするレンゴー(株)尼崎工場を改めて思い返し原稿を書き終えました。

最後になりますが、今回の研修旅行にご尽力いただきましたすべての関係者の皆様に御礼申し上げます。



伏見稲荷大社にて



茨城県支部

旅行報告 (新潟)

報告者：美濃紙業(株)守谷営業所 根本 道之

日 程：10月7日(日)～9日(火) 2泊3日

- 1日目：東京駅(新幹線)＝新潟駅(フェリー)＝佐渡島＝妙宣寺(参拝)＝佐渡歴史伝説館(見学)＝大佐渡温泉ホテル
- 2日目：ホテル＝尖閣湾揚島遊園＝根本寺(参拝)＝佐渡金山＝トキの森公園＝ジェットホイル＝新潟港＝月岡温泉(華鳳)
- 3日目：ホテル＝北方文化博物館＝新潟ふるさと村バザール館＝北越コーポレーション(株)新潟工場視察(中止)＝今代司酒造店＝新潟駅＝東京駅

【感想】

台風の心配もありましたが、佐渡では色々なところを見学し、広大な海、雄大な山などの大自然と触れ合い、天然記念物の朱鷺を見ることができるとても思い出深く、博物館や金山跡などでは深い歴史を感じる事が出来ました。

ホテルでは、宴会・カラオケ(皆さんうまか

ったな～)で大変盛り上がりました。

北越コーポレーション(株)新潟工場の視察研修は、北越紀州製紙様より、定期修繕のため工事



佐渡に向かうフェリーの客室

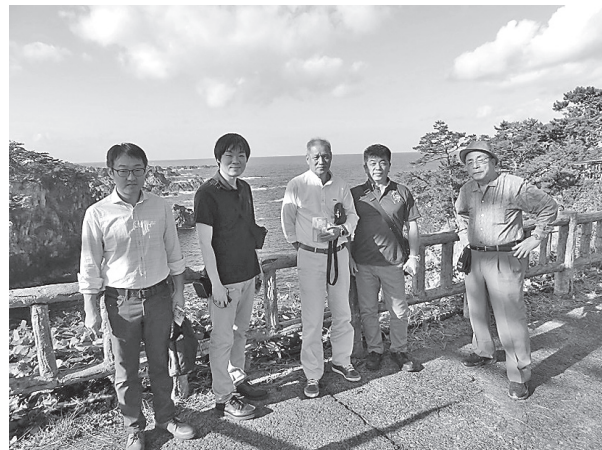


新潟市文化財 旧小澤家

車両が往来するので今回はお断りされてしまい、中止となり残念でした。ですが、組合の皆様との交流を深める事が出来、また、貴重な体験もさせて頂き、とても有意義な視察研修旅行でありました。



佐渡金山の当時の発掘の様子を再現した人形



佐渡弥彦米山国定公園から望む尖閣湾

省エネベラー誕生
SW770 HEシリーズ
 HIGH SPEED, HIGH PRESSURE
 AND ENERGY SAVING

契約電力DOWN!!
 消費電力
25%
 以上削減!!
 消費電力DOWN!!

株式会社 昭 和
 本社 〒134-0091 東京都江戸川区船堀2丁目23番21号
<http://www.showa-press.co.jp> 電話 03-3689-0303

仕入処理 **東芝製紙原料卸システム** 購れ

他社 持込 買掛 伝票管理 1-13

運転者

品名	仕庫番	卸番	卸先	引当	金額	子債
1. 画面タッチでらくらく伝票発行						
2. かが引き・水引き・ダスト引き						
・評価替えに対応						
3. 逆有償、販売品管理対応						
4. 運賃管理が可能						
5. 安心サポート						

全原連認定

発行者 東芝ソリューション販売株式会社
 ビジネスソリューション事業部
 〒210-0024 神奈川県川崎市川崎区日進町1番地53
 (興和川崎東口ビル)
 TEL (044) 577-7067 FAX (044) 200-8730
 ソリューション営業第一部 担当: 山崎、柿崎

計 帳 車 番 仕入先

二十一世紀の環境を守る。
 信頼のパートナー。
古紙用ベラー番線。

豊かな環境を
 ワンダフル21世紀

- ・最良の品質
- ・豊富な在庫
- ・万全なサービス

株式会社 櫻 井
<http://www.kk-sakurai.com/>
 〒116-0014 東京都荒川区東日暮里4-13-12
 TEL 03-3803-3511
 FAX 03-3807-8153

巻数/1巻	コイル 1巻	コイル 1巻	1巻+1巻	1巻+1巻
φ12 20%	50	100	500	1,000
φ10 32%	50	100	500	1,000
φ8 40%	50	100	500	1,000

ベラー番線

最良の品質・防錆OK
 ートラブル、ロスが少ないー
 50K・100K・500K・1000K

坂野興業株式会社

東京本社 TEL03-3718-7311 FAX03-3724-8170
 浦安営業所 TEL0473-54-6531 FAX0473-51-5201
 静岡営業所 TEL054-624-1101 FAX054-624-6704

業界人語



「古紙とのお縁」

(公財)古紙再生促進センター
関東地区委員会 副委員長
王子エコマテリアル株式会社
取締役古紙部門長
竹内 孝之

り、紙の商売はわずかに
なっていたようですが、
子供のころ蔵の中に商品
の紙が積まれていたのを
見た記憶が残っています。
また、母方の実家は
千住の辺りでこれも小さ
な製紙工場を営んでいた
らしく、活版印刷に使う
特殊な紙を作っていたそ

皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年8月より、王子エコマテリアル・古紙部門長を務めています竹内孝之と申します。古紙の業界では新参者ですので、まずは自己紹介をさせていただきます。

出身は埼玉県川越市。1965年生まれの53歳です。中学、高校、大学と水泳部に所属。特別な実績はありませんが、水泳は生涯スポーツとして楽しめるので、現在も半現役としてマスターズ大会などに参加して楽しんでいます。

1988年に王子製紙に入社。農学部林学科卒業であり、苫小牧工場を皮切りに、本社、ニュージーランド駐在、呉工場と主に木質原料調達を担当していましたが、呉時代には中国地区の古紙調達も担当し、初めて古紙問屋さんとの付き合いをさせていただきました。

実は私の実家は明治の終わりころからと思いますが、小さな紙問屋を営んでいました。私が生まれたころには日用品雑貨主体となってお

うです（どちらも既に廃業していますが）。

このように家系的には紙にずいぶん縁があるのですが、王子製紙に入社する際、あるいは入社してからも、実はほとんど家業のことを意識することはありませんでした。母方の家業などは、私が物心ついたときには廃業していたのでなおさらです。それが、今回古紙業務を担当してから、妙に自分の家系を意識するようになりました。扱うものは違いますが同じ問屋屋であること、母方の紙の工場の原料はおそらく古紙だったと思われることなどから、今の仕事に何か運命的なものを感じる、と言ったら大げさでしょうか。

古紙業界に関する知識は未だ甚だ未熟ではありますが、自分のルーツとこの仕事の不思議な縁はきっと良縁であると信じ、微力ではありますがこれから少しでも業界に貢献できるよう頑張りますので、ご指導のほどよろしく願いいたします。

編 集 後 記

先日、2018年10月の完全失業率2.4%と発表されました。国会では少子高齢化や人口減少が進み人手不足が深刻化する対策として、出入国管理法改正案を審議しています。

あるシンクタンクで人手不足を推計、2017年121万人～2030年644万人、今よりも人手不足が5.3倍もなる。また、人手不足から実質賃金が上昇。2017年1,835円～2030年2,096円と14.2%増。人手不足は深刻

な問題ですが、賃金上昇は大歓迎ですよね。東京都の最低賃金は、2009年791円～2018年985円、10年間で24.5%増となっています。

日本国経済が好調の時は企業が好景気であり、人を雇って業績をさらに上げようとしています。反対に経済が不調の時は不景気であり、人を雇わずにコストを抑えようとしています。

失業率が低い、人手不足であるということは好景気であると

言えます。人手不足は長期化するので2019年も好景気です。2020年以降も長期にわたり好景気になると言えます。明るい未来が待っています。

さて、視点を業界に転じますと、人手不足で事業継続困難とならないように、一層の経営努力を求められる2019年になります。ブラック企業でもグレーでもない、ホワイトになりますように！

(編集人 斎藤大介)

迎 春

昨年中はいろいろ有難うございました。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



平成 31 年 1 月 (アイウエオ順)

<p>新井紙材 株式会社</p> <p>代表取締役 新井 重雄</p> <p>東京都港区麻布十番2-7-1 TEL 03-3408-5862</p>	<p>王子浮間古紙センター 株式会社</p> <p>代表取締役 諸 隈 令 介</p> <p>東京都北区浮間5-11-7 TEL 03-3967-6236</p>	<p>株式会社 金子商事</p> <p>代表取締役 金 子 孝</p> <p>埼玉県所沢市南永井767-5 TEL 04-2944-4097</p>
<p>株式会社 新井商店</p> <p>代表取締役 新井 勝 夫 代表取締役副社長 新井 重 樹</p> <p>東京都台東区根岸5-14-13 TEL 03-3873-9111</p>	<p>王子斎藤紙業 株式会社</p> <p>代表取締役社長 諸 隈 令 介</p> <p>東京都新宿区新宿1-34-8 TEL 03-3226-6611(代)</p>	<p>株式会社 木 下</p> <p>代表取締役社長 木 下 一 善</p> <p>神奈川県川崎市幸区戸手4-12-18 TEL 044-544-5611</p>
<p>株式会社 育峯紙業</p> <p>代表取締役社長 毛 塚 孝 男</p> <p>茨城県古河市小堤315-14 TEL 0280-98-2632 FAX 0280-98-2635</p>	<p>株式会社 大久保</p> <p>代表取締役社長 大久保 信 隆 常務取締役 大久保 薫</p> <p>東京都荒川区東日暮里1-40-5 TEL 03-3891-1188(代)</p>	<p>株式会社 木場リサイクル</p> <p>代表取締役社長 新井 英 希</p> <p>東京都江東区塩浜2-14-2 TEL 03-5665-8088</p>
<p>市川紙原 株式会社</p> <p>代表取締役社長 栗 原 正 幸</p> <p>千葉県市川市平田1-20-11 TEL 047-322-3301</p>	<p>大村紙業 株式会社</p> <p>代表取締役社長 大 村 直 紀</p> <p>足立区保木間1-10-11 TEL 03-3850-9772</p>	<p>株式会社 共益商会</p> <p>代表取締役社長 赤 染 マ リ リ ン</p> <p>東京都品川区南大井6-8-11 TEL 03-3763-9431</p>
<p>株式会社 市川商店</p> <p>代表取締役 市 川 哲 也</p> <p>東京都練馬区早宮3-12-18 TEL 03-3992-6136 FAX 03-3992-6137</p>	<p>株式会社 海 原</p> <p>代表取締役社長 海 原 健 二</p> <p>群馬県館林市新宿1-9-34 TEL 0276-73-0047</p>	<p>株式会社 工藤商店</p> <p>代表取締役社長 工 藤 裕 樹</p> <p>東京都板橋区前野町4-40-18 TEL 03-3965-5101</p>
<p>株式会社 今 井</p> <p>代表取締役社長 今 井 利 明</p> <p>埼玉県さいたま市浦和区 針ヶ谷1-1-14 TEL 048-831-5468</p>	<p>株式会社 梶谷商事</p> <p>代表取締役社長 梶 野 隆 史</p> <p>東京都杉並区堀ノ内3-13-3 TEL 03-3315-4411</p>	<p>栗原紙材 株式会社</p> <p>代表取締役 栗 原 正 雄</p> <p>東京都荒川区東日暮里1-27-9 TEL 03-3806-1751</p>
<p>ウブカタ資源 株式会社</p> <p>代表取締役 金 子 真 澄</p> <p>群馬県沼田市屋形原町2113 TEL 0278-22-5555</p>	<p>株式会社 金澤紙業</p> <p>代表取締役社長 金 澤 基 彦</p> <p>神奈川県藤沢市白旗4-2810 TEL 0466-81-0865</p>	<p>株式会社 グリーン</p> <p>代表取締役 斎 藤 浩 二</p> <p>千葉県松戸市紙敷879 TEL 047-391-1588</p>

迎 春

昨年中はいろいろ有難うございました。
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



平成 31 年 1 月 (アイウエオ順)

<p>株式会社 久米川紙業</p> <p>代表取締役 吉 浦 高 志</p> <p>東京都東村山市廻田町1-18-91 TEL 042-391-4113</p>	<p>有限会社 斉藤宏商店</p> <p>代表取締役 齋 藤 久 雄</p> <p>群馬県高崎市柴崎町1175 TEL 027-352-6633</p>	<p>株式会社 坪野谷紙業</p> <p>代表取締役 坪野谷 悟 輝</p> <p>栃木県下野市柴1-4 TEL 0285-44-5005</p>
<p>株式会社 小池商店</p> <p>代表取締役 小 池 茂 男</p> <p>東京都新宿区新宿1-20-2 TEL 03-3354-9321(代)</p>	<p>株式会社 佐久間</p> <p>代表取締役社長 佐久間 仁 宣 代表取締役専務 佐久間 明 錫</p> <p>千葉県四街道市四街道1544-2 TEL 043-420-6501</p>	<p>東京紙業 株式会社</p> <p>代表取締役 赤 澤 満</p> <p>東京都中央区八丁堀3-5-8 TEL 03-5540-6141</p>
<p>株式会社 國 光</p> <p>代表取締役社長 朝 倉 行 彦</p> <p>東京都台東区東上野1-28-12 TEL 03-5816-7055</p>	<p>三弘紙業 株式会社</p> <p>代表取締役社長 上 田 晴 健</p> <p>東京都文京区本郷1-30-17 TEL 03-3816-1171(代)</p>	<p>株式会社 富 澤</p> <p>代表取締役社長 富 澤 進 一</p> <p>埼玉県川口市元郷3-21-31 TEL 048-227-3098 FAX 048-226-2044</p>
<p>株式会社 近藤商店</p> <p>代表取締役社長 近 藤 國 宏</p> <p>東京都台東区元浅草4-1-3 TEL 03-3843-3866 FAX 03-3843-3867</p>	<p>JP資源 株式会社</p> <p>代表取締役社長 渋谷 則 幸</p> <p>東京都中央区勝どき3-12-1 フォアフロントタワー 12階 TEL 03-5547-5210</p>	<p>株式会社 中商ホールディングス</p> <p>代表取締役 中 上 剛</p> <p>福島県白河市白坂鶴子山66番地1/2F TEL 0248-28-2942</p>
<p>株式会社 斎藤英次商店</p> <p>代表取締役 斎 藤 大 介</p> <p>千葉県柏市柏6-1-1 TEL 04-7186-6701</p>	<p>株式会社 下田商店</p> <p>代表取締役会長 土方 十四 江 代表取締役社長 土方 道 明</p> <p>東京都日野市万願寺2-35-6 TEL 042-583-0753</p>	<p>株式会社 中 田</p> <p>代表取締役社長 中 田 敏 夫</p> <p>東京都渋谷区恵比寿西2-6-6 TEL 03-3461-5910</p>
<p>株式会社 斉藤久七商店</p> <p>代表取締役 斉 藤 岳 二</p> <p>東京都荒川区東日暮里4-14-2 TEL 03-3806-2897</p>	<p>株式会社 須 賀</p> <p>代表取締役 須 賀 清 文</p> <p>東京都荒川区東日暮里2-28-11 TEL 03-3891-6224</p>	<p>永田紙業 株式会社</p> <p>取締役会長 永田 博 太郎 取締役社長 永田 耕 太郎</p> <p>埼玉県深谷市長在家198 TEL 048-583-2141</p>
<p>株式会社 齋藤商店</p> <p>代表取締役社長 齋 藤 米 藏</p> <p>東京都千代田区神田神保町1-46 TEL 03-3293-7701(代)</p>	<p>株式会社 タンザワ</p> <p>代表取締役 中 村 幸 司</p> <p>神奈川県秦野市曾屋357 TEL 0463-81-1010</p>	<p>株式会社 ナコジ</p> <p>代表取締役会長 名古路 勝 彦 代表取締役社長 辻 昭 彦</p> <p>東京都千代田区神田錦町3-13-7 TEL 03-5280-3710</p>

迎 春

昨年中はいろいろ有難うございました。
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



平成 31 年 1 月 (アイウエオ順)

<p>有限会社 根本商店</p> <p>代表取締役 根本 祐一</p> <p>日立市平和町1-4-11 TEL 0294-21-2068</p>	<p>株式会社 増田商店</p> <p>代表取締役 増田 唯之 専務取締役 増田 悦宏</p> <p>東京都葛飾区立石2-23-17 TEL 03-3694-8824</p>	<p>美濃紙業 株式会社</p> <p>会長 近藤 征雄 社長 近藤 勝</p> <p>東京都足立区千住東2-23-3 TEL 03-3882-4922</p>
<p>株式会社 平松商店</p> <p>代表取締役 平松 邦明</p> <p>東京都渋谷区幡ヶ谷2-42-5 TEL 03-3378-5631</p>	<p>松岡紙業 株式会社</p> <p>代表取締役社長 三井 文雄</p> <p>静岡県富士市蓼原110 TEL 0545-63-1212</p>	<p>むさし野紙業 株式会社</p> <p>代表取締役社長 安立 博信</p> <p>埼玉県川越市大字下広谷404-1 TEL 049-239-3456</p>
<p>株式会社 藤川紙業</p> <p>代表取締役 藤川 達郎</p> <p>東京都荒川区西日暮里2-32-20 TEL 03-3807-9347</p>	<p>株式会社 丸栄商店</p> <p>代表取締役 金井 篤史</p> <p>茨城県古河市尾崎11-2 TEL 0280-76-2690</p>	<p>株式会社 村松紙業</p> <p>代表取締役 村松 修</p> <p>神奈川県横須賀市舟倉2-2-8 TEL 046-835-8562</p>
<p>株式会社 ブシュー</p> <p>代表取締役 近藤 豊</p> <p>埼玉県新座市野火止1-13-41 TEL 048-479-7578</p>	<p>株式会社 丸興佐野錦一商店</p> <p>代表取締役社長 佐野 一 専務取締役 相田 寛文</p> <p>静岡県富士市五貫島546 TEL 0545-65-6277</p>	<p>森田紙業 株式会社</p> <p>代表取締役社長 森田 臣</p> <p>東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎2113 TEL 042-557-0864</p>
<p>株式会社 二見</p> <p>代表取締役社長 須長 勇太</p> <p>神奈川県小田原市中町3-13-22 TEL 0465-23-3125</p>	<p>株式会社 丸十商店</p> <p>代表取締役 高橋 德行</p> <p>東京都足立区本木2-10-1 TEL 03-3849-7201</p>	<p>株式会社 山 博</p> <p>代表取締役 山室 新太郎</p> <p>東京都台東区元浅草3-8-4 TEL 03-3845-2828</p>
<p>株式会社 北越マテリアル</p> <p>代表取締役社長 矢沢 敏之</p> <p>千葉県市川市塩浜3-14-1 TEL 047-397-3115</p>	<p>株式会社 水 越</p> <p>代表取締役社長 水越 盛行</p> <p>〒316-0036 茨城県日立市鮎川町2-1-35 TEL 0294-36-2545 FAX 0294-35-8121 http://www.mizukoshi-re.co.jp/</p>	<p>株式会社 山 室</p> <p>代表取締役社長 畑 純一</p> <p>東京都台東区元浅草2-2-15 TEL 03-3844-8191</p>
<p>北海紙管 株式会社</p> <p>代表取締役社長 長谷川 裕一</p> <p>埼玉県春日部市南栄町15-9 TEL 048-754-6298</p>	<p>皆川商事 株式会社</p> <p>代表取締役社長 皆川 三彦</p> <p>東京都板橋区舟渡1-9-11 TEL 03-3968-2427</p>	<p>株式会社 和 光</p> <p>代表取締役 齋藤 秀樹</p> <p>東京都渋谷区幡ヶ谷3-48-7 TEL 03-3377-3714</p>

支部だより

東京都西支部



石坂グループでの視察の様様



エコポート九州にて

神奈川県支部



レンゴー金津工場前にて



箔巧館で「箸」に金箔を貼り付ける様子

埼玉県支部



レンゴー尼崎工場前にて



伏見稲荷大社にて

茨城県支部



新潟市文化財 旧小澤家



佐渡弥彦米山国定公園から望む尖閣湾

STOP THE 火事

2018年 防火月間



漏電



ベレーから出火



たばこ



トラックから出火



モーターに埃が溜まって出火



全国製紙原料商工組合連合会